

# 【四国巡拝用品一覧】 巡拝用品名(@¥単価)

線香ローソク入れ(@¥500)



さんや袋[防水](@¥2,000)



御影帳[カラー写真入り](@¥2,500)



前掛(@¥1,000)



持鈴[大](@¥3,000)



持鈴[小](@¥1,500)



持鈴[ミニ](@¥1,000)



ズボンジャージ(白)

男子用[M・L・2L]	@¥3,000
"    [3L・4L]	@¥3,250
女子用[M・L・2L]	@¥2,500
"    [3L・4L]	@¥2,750



すげ笠[字入り]  
カバー付(@¥1,800)



ズボンブロード[男女兼用]  
@¥2,000



# 【四国巡拝用品 掛け軸/納経帳(朱印帳)】

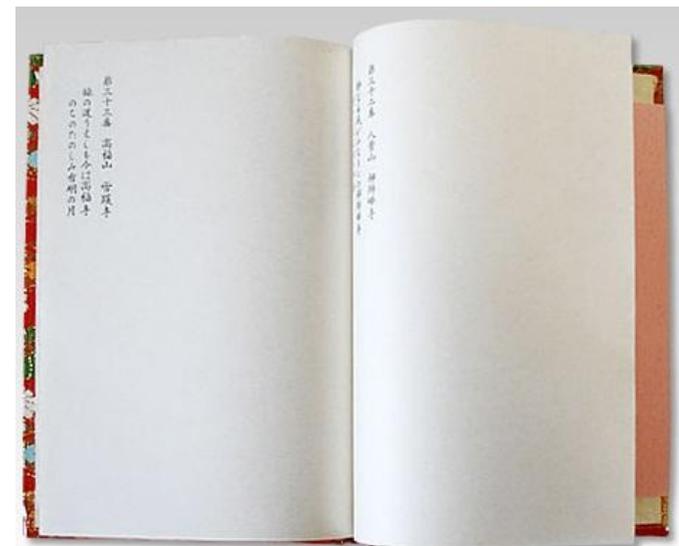
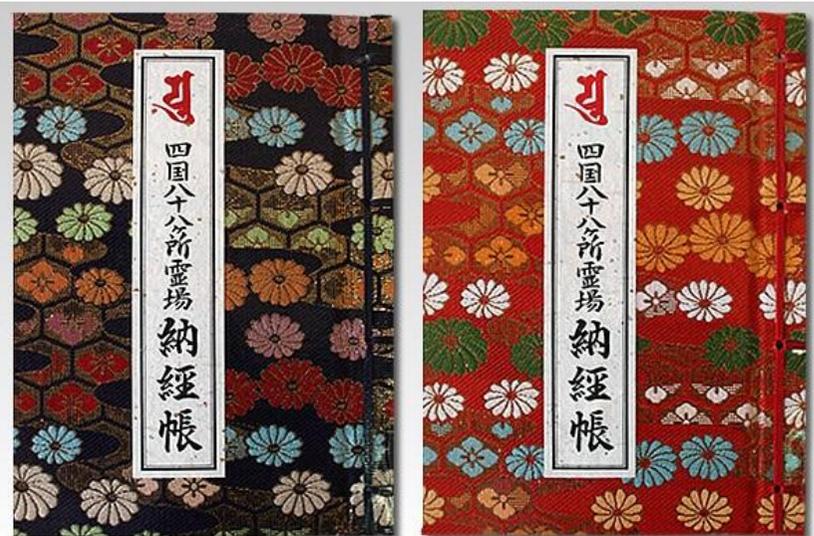
四国掛軸 (@¥15,000)



四国掛軸 (@¥20,000)



四国納経帳(三重折カバー付) @¥2,000 色について…指定が無ければ男性「青」、女性「赤」になります



## ◆菅笠(すげがさ)

日除け、雨具に最適な道具で、お遍路の必需品。

まず「梵字」一字が前になるように被ります。この梵字は弥勒菩薩を表す梵字で発音は「ゆ」です。

お大師さま(弘法大師空海)を表していると言われています。

その他に、迷故三界城(迷うがゆえに三界は城なり)、何処南北有(どこに南北があらうか)

同行二人(遍路は自分一人ではなくいつも弘法大師と一緒に)

本来東西無(本来東西は無く)、悟故十方空(悟るがゆえに十方は空)と書かれており、

つまり、「迷っているが故に自分を取り巻く環境がまるで堅固な城郭に閉じ込められているかのような圧迫感がある。その迷いを突き抜けて悟ってみれば、十方世界は空と同じように自由に伸び伸びとしている」という意味です。

\*「三界」は輪廻の世界を現し、悟りを得なければ逃れられないのがこの三界。苦勞が絶えないという意で使われることもあります。

\*「十方」は全ての空間を表し、すべてが集まり、すべてが発する場所ともされます。



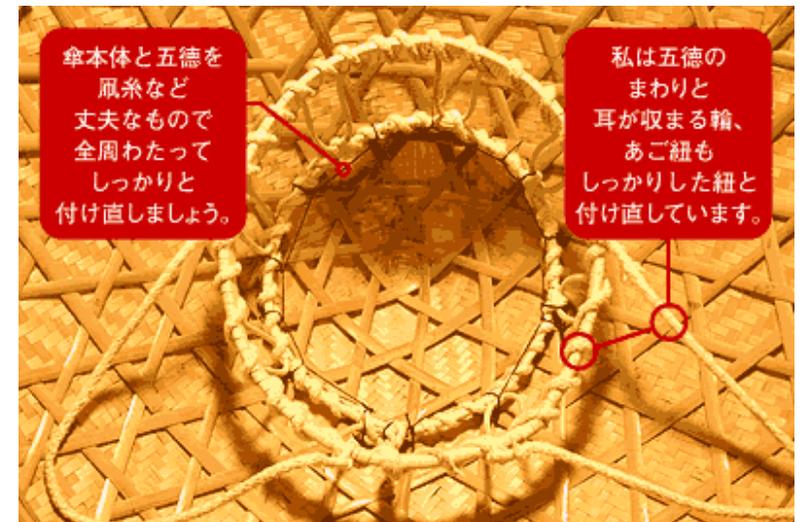
### 【菅笠の補強】

この菅笠は、傘の「本体」と「五徳」といわれる、頭に止める台輪で出来ていますが、ほとんどの製品はこの2つの部品を4カ所ほど「ビニタイ」という針金で止めてあるだけです。また、あご紐も細いものが簡単に付けられているだけです。そこで、これを入手したらまず、五徳を本体に扇糸などの丈夫なもので全周にわたってしっかりと付け直しましょう。さらに、紐も耳が収まる輪を2カ所作り〔例1〕イメージ写真参考〕そこにあごを止める紐を付けるようにすると、少しの工夫で風にも強くなり、被り心地も向上します。

(例1)イメージ



▲耳が収まる輪をつくります



\* 初めてご参加される方には下記巡拝用品(各1つつ)を追加代金無しでお渡しします。

( \* 納め札以外は旅行当日にバス車内にてお渡しとなります )

## 白衣

{\*サイズ(M・L・2L)}



## 納札と札入れケース



## 金剛杖と杖カバー(鈴付)



## 輪袈裟 (箱付き)



この他に四国 88ヶ所地図(ポリ袋入)と四国第1番・霊山寺で作成している経本をお渡しします。

\*注杖カバーの色・柄はお任せになります。